



図案の全体を切り抜いたものに、胴体は「上田」の文字で書込み、中央の上がった三角形は無数の可能性と発展を表す。大空に羽ばたいた田中のシンボル。(昭和39年制定、上原三善氏デザイン)

うえたっ子 11月

運動会 あんなことこんなこと

11月3日に行われた運動会では、たくさんの皆様に新しい運動場と子どもたちの素晴らしい演技や競技を披露することができましたこと、大変うれしく思います。また、ご来校の上、子どもたちを激励していただいたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

子どもたちも教職員も限られた時間を有効に活用し、効率的な練習計画のもと、一致団結して演技を仕上げて参りました。



数ある学校行事の中で、子どもたちはもちろん、保護者や家族、親戚、地域までも巻き込んで、こんなにも盛り上がるのはやはり運動会が一番ですね。今号では、運動会当日の素晴らしい演技や競技に至る練習過程や当日の舞台裏まで、「今だから言える」裏話を、各学年より取材しました。「へえ〜、そうだったのか〜」、「うんうん、そうだった!」と、当日の演技も思い浮かべながらお読みいただけると幸いです。

何をしててもかわいい… ~第1学年~

小学校生活初めての運動会。玉入れ競争1回戦では、なっ、何と3個しか入っていないクラスが1位となっていました。当然のごとく、すぐに数え終わってしまいました。ちょっと恥ずかしそうにカチャーシーを踊っている1年生の姿が大変かわいくて微笑ましかったです。

2回戦は、全員で投げ入れる段取りになっていましたが、どうしたことか、投げることも円内に散らばった玉を集めることに必死で、いざ投げようとしたときには、無情にも終了のベルが鳴ってしまい、結局1個も投げられなかった子もいました。でも、何をしててもかわいい1年生でした。



一番苦戦したのはウェーブ ~第3学年~

3年生の演技で一番苦戦したのは、意外にも「ダンス」より「ウェーブ」でした!

学年練習が始まると、子ども達は、なんと最初の45分で校歌ダンスをマスターし、キムタカのダンスも順調に覚えていきました。

そこで、担任は知恵を出し合って、ダンスの合間に「ウェーブ」を入れることにしました。「すぐにできるだろう」と思い、子どもたちに説明し、「やってみて!」とさせてみると…。まさかの混乱。何度やってもうまくいきません。とてもシンプルな動きだと思っていたのに…。「大人の感覚と子どもの感覚はやっぱり違う!」と痛感させられました。結局、本番までウェーブの練習を何度も何度も行いました!!

本番での出来栄えはいかがでしたか? モチロン… (´_`)/



初挑戦のバトンパス、ノリノリダンス ~第2学年~

去年は「かけっこ」で個人勝負の2年生。今年はレベルアップして、3年生からのリレーにつなげようと、「折り返しリレー」に挑戦。練習では、バトンの受け渡しの際、右手を出して構えることができなかったり、どこを向いていいかわからず挙動不審になったりしましたが、当日は、誰一人後ろを向くことなくしっかりとバトンパスができ、とてもカッコよかったです。

ダンスもとてもノリノリで、休み時間には、何度も「踊らーい」と言ったり、「イエーイ」というかけ声が自然発生したりと、とても楽しそうでした。隊形移動は、先頭の子が迷子になったり、円のダンスも覚えるまで何度も練習したり…。4クラスそろってフィナーレができた時は担任一同、超感動しました。

当日は、どの子も一生懸命に走ったり踊ったりし、集中力の切れそうな最後の大王転がしまで楽しく頑張れた2年生はとてもキラキラと輝いていました。



巻きつくフラッグも騎馬も… ~第4学年~

4学年の子どもたちは、ふだんから元気いっぱい溢れるほどです。そこで、その元気の良さが伝わるように、フラッグダンスに挑戦しました。練習をはじめた頃は、フラッグが棒に巻きついたり、それが気になったりでうまく演技に集中することができなかったのですが、練習を重ねているうちに、巻き付いてもさり気なくほどき、糸乱れず、「バシッ!」と演技することができるようになりました。

騎馬戦では、騎馬が組めずなかなか戦うことができませんでしたが、運動会本番では、作戦までたてて戦うことができました。実は、大将戦は、ぶっつけ本番で臨みました。

運動会直前にインフルエンザが流行り、メンバーがそろつか不安でしたが、それらも持ち前の元気で吹き飛ばし、大成功の運動会でした。



担任も涙の大成長! ~第5学年~

一致団結した演技で大成功の組み体操! 教師も思わず涙するほどの演技を見せてくれた5年生でした。もちろん、大成功の裏にはいろいろなドラマがありました。実は、練習を始めた当初は、人の上に乗ることすら怖がり、補助してもらっても倒立ができない児童や、目の前に迫ってくる友だちの足から逃げ出して補助できない児童もチラホラ…。水平バランスはゆらゆら、ウェーブも切れ切れ、そもそも円になることもできなかったのです。しかし!さすがスーパー5年生!

運動会が近づくにつれ、ぐんぐん上達し、当日は、全員のチームワークで、暫く拍手が鳴り止まないほど最高の演技を披露してくれました。今後の成長が楽しみです。感動をありがとう!!



リズム感が良いが… ~第6学年~

運動会の演技がエイサーと決まってから、学級では伸び伸びタイムなどに振付動画を流していましたが、子どもたちのノリは今一。練習もなかなか進みませんでした。しかし、本番が近づくにつれ、一人踊り、二人踊り…と、だんだん増え、少し盛り上がってきました。

本番二週間前からは、エイサー集団「しんか」の宇和田さんに指導していただけるようになり、そこからは、メキメキと上達しました。宇和田さんからは、「今年の6年生はリズム感が良い!」と褒めていただきました。が、「声が小さい」との指摘も…。

しかし、そこはさすがに上田小学校の最上級生。本番にはしっかりと意地を見せてくれました。6年生、サイコー!



しまくとっぽで「耳グスイ」コーナー 児童 習しなむん 【意味】童は 習わせもの(教え方次第)。

【解説】子どもは教え次第のものである、という意。幼い子は人から教わったことを教わった通りに実践する。だから子どもが将来、どういう人間になるかは、親や周囲の大人の教育によって決まるということ。子どもの性質と教育の大切さを述べる黄金言葉。沖縄では共通語の「教える」に直接対応する言葉がなく、「ナラースン(習わせる)」という。



これとは逆に、積極的に教えずとも子どもの行動パターンに影響を与えることがある。例えば、子どもが物を欲しがって大勢の人の前で大声で泣きわめいた時、親が周りの目を気にして買い与えてしまうと、子どもは「こうすれば欲しい物を買ってもらえる」ということを学んだり、「あまり大したことではない」と黙認しているうちに、その行為が許されるものと認識してしまったりすることもある。

「めるぼん」(学校メーリングサービスの登録をお願いします)。

学校から配信されるお知らせや不審者情報等をリアルタイムで受信できる「めるぼん」への登録をお願いします。なお、登録方法については、学校HPをご覧ください。



☆「上田小ホームページ」では各種たよりをカラーでご覧いただけます。

- ①「豊見城市立上田小学校」で検索する
- ②【<http://elue.city.tomigusuku.okinawa.jp/index.jsp>】
- ③【豊見城市ホームページ】→【教育・スポーツ】→【学校・教育】→【小中学校に関すること】→【市立小中学校一覧】→【上田小学校】